

科目名	解剖生理学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	岡野 こそえ	関連する資格	栄養士免許 必修				
授業概要 私たちの体は、約 60 兆個の細胞から成り立っています。それぞれの細胞は分化し、集団を形成して組織となり、組織が組み合わさって器官（臓器）になっています。各器官系の構造と機能を学ぶとともに、生体の内部環境の恒常性を維持する仕組み、生体を防御するしくみ、生命の継代および老化のしくみ等を学び、身体で繰り広げられている生命活動を理解できるように、テキストに沿って講義をします。							
到達目標			成績評価方法				
栄養学を学ぶ学生にとって必要とされる人間の構造と機能の関連性が理解できることを目標とします。			期末試験の成績と小テストの成績から総合的に判断します。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	◎	◎	◎				70
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション、人体の構造原理とダイナミクス				ビデオ視聴			
2) 遺伝子と細胞・組織				ビデオ視聴			
3) 消化器系				ビデオ視聴			
4) 呼吸器系				ビデオ視聴			
5) 循環系				ビデオ視聴			

6) 血液と体液	ビデオ視聴
7) 泌尿器系と腎機能	ビデオ視聴
8) 生殖と発生	ビデオ視聴
9) エネルギー代謝と体温調節	ビデオ視聴
10) 内分泌系	ビデオ視聴
11) 免疫系	ビデオ視聴
12) 神経系	ビデオ視聴
13) 感覚器	ビデオ視聴
14) 運動器系	ビデオ視聴
15) 皮膚	ビデオ視聴
授業外学習	
授業およびDVD視聴と小テストから授業内容をまとめ、関連科目の理解度と興味を増強させる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「解剖生理学：栄養科学シリーズ」（講談社サイエンスフィック）	生理学、運動生理学、栄養学、臨床栄養学
備考	
栄養科学シリーズ・解剖生理学に沿ってスライド形式で講義をします。理解しやすくするためにDVD等を併用します。毎回、授業の終わりに出席確認と復習を兼ねた小テストを行います。	